

いのちと放射能

講演会

2014
11/29土

13:30~16:30

DNAは親から子へ受けつがれます

スリーマイル島、チェルノブイリ、福島で
原発事故が起き、私たちは放射能と向き合わざるを得ない
日常を送ることになりました。

60兆個の細胞からできている私たちのからだ。細胞ひとつひとつに、親
から子へ受けつがれる「情報テープ」が入っています。そんな私たちのからだに
放射能を浴びたり、体内に取り入れてしまうとどうなるのか、お話を
聞いてみませんか。

また、「原発より危険」といわれる青森県の六ヶ所処理工場についても、一緒に
学んでみませんか。福島で子どもたちを守るために活動しているお母さん、
山形に避難している高校生もお話させていただきます。



鶴岡市勤労者会館

鶴岡市泉町8-57

一般500円 学生200円

託思心-4あり 要事前申し込み



永田文夫さん

岩手県在住、元高校教師
「三陸の海も放射能を守る岩手の会」世話人



佐藤幸子さん・美菜さん

福島県在住 山形県小国町在住
福島診療所設立呼びかけ人 幸子さんの二女、高校生

主催/大震災原発問題学習会
実行委員会

庄内医療生活協同組合
共立社鶴岡生協
庄内地域づくり子育て・文化協同の会
フクシマの子どもの未来を守る家
山形大学農学部学生ボランティアプロジェクト
「走れ!おあのヤリ」

後援/ 庄内日報社

山形新聞・山形放送

私も本講演会に賛同します

- 池田聡子 鶴岡市在住、歯科医
- 小松馨 酒田市在住、「農的暮らし研究所」主宰
- 佐藤暎子 鶴岡市在住、「庄内自然育児の会」発起人 ナチュラル&オーガニックショップ「天知舎」代表
- 佐藤恵子 鶴岡市在住、(株)出羽の四季 勤務
- 坪沼雪人 遊佐町在住、県内避難者
- 矢澤俊彦 日本キリスト教国華内教会牧師 庄内教会保育園 園長

問い合わせ
託思申し込み

長南厚・090-5356-8981 高橋裕子・080-6023-7490

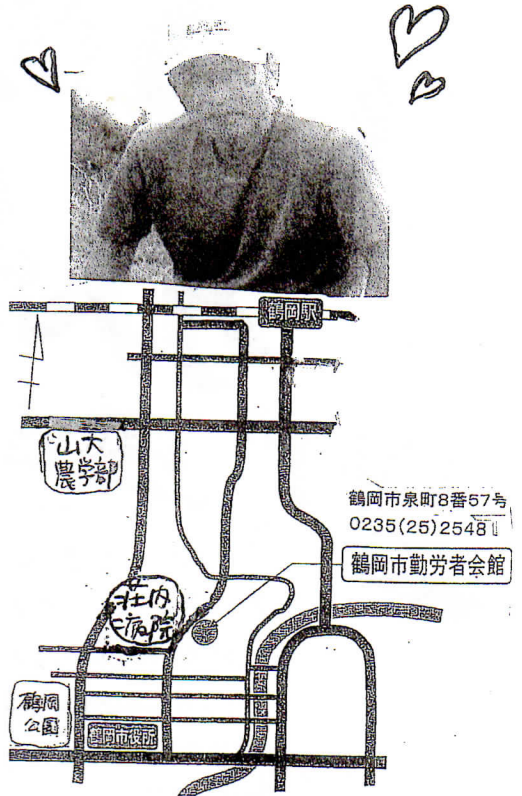
講師プロフィール

☆永田文夫 (ながたふみお) さん

県立高校の化学の教員時代、生徒と池や湖沼などの水質や微生物調査などを実施。新日鐵釜石の公害問題で住民運動に分析などで協力。以来公害・環境問題に市民とともに取り組む。

1982年滝沢村にRMC(医療用放射性廃棄物処理工場)の計画反対運動に加わる。1987年RMC建設後は村の監視委員会の反対派代表委員として監視を継続。RMC敷地内に研究用放射性廃棄物処理工場の建設計画が持ち上がったが、みんなの力をあわせ阻止に成功。

青森県六ヶ所村再処理工場から膨大な放射能が環境へ放出されることがわかり、2005年2月から計画に対して、市民団体「三陸の海を放射能から守る岩手の会」を仲間とともに立ち上げ、世話人として再処理問題の他、原発事故後放射能汚染(汚染物の焼却、子どもの甲状腺検査、海洋のストロンチウム汚染)などに取り組んできた。



分科会講師

☆佐藤幸子 (さとうさちこ) さん

1982年から自給生活の実践を行う「やまなみ農場」開始。2000年「いのちのせんたくひろば」立ち上げ、2007年NPO法人青いそら設立。障がい者の日中活動支援のためのヘルプステーション「おはよう」運営。

原発事故後は、子どもたちを放射能から守るために、福島診療所建設運動を始め、幅広く活動。全国を飛び回り福島の現状を伝え、福島の悲劇を繰り返さないために、原発廃炉を訴える。

著書「自然農への道」共著 創森社「福島の下で」創森社



☆佐藤美菜 (さとうみな) さん

1997年、佐藤家の5人兄妹の末っ子(幸子さんの二女)として誕生。

原発事故によって「やまなみ農場」での生活を断念、山形に避難。2011年9月、母と共に渡米。原子力規制委員会、国会議員等に対して福島原発事故の実態を訴えるスピーチを行う。2013年4月から、山形県小国町の基督教独立学園に進学、寮生活を送っている。

同年9月に学園での朝拝時、自らの震災後の体験を話すことによって気持ちが整理され、母と共に福島の子どものための代弁者として、メッセージを届ける活動開始。

◆私も本講演会に賛同します (表面からの続き): 五十嵐美紀 (庄内医療生協組織部)・石倉和子 (大部町在住)・石塚俊朗

(元中学校教員)・石塚まどか (1児の母)・大高全洋 (庄内地域づくりと子育て・文化協同の会代表委員)・小形和 (養護学校教諭)・加藤かおり (元保健師、稲生町在住)・加藤太一 (鶴岡市議)・金丸学 (だいこん座劇団員)・川内明子 (フクシマの子どもの未来を守る家)・管幹雄 (元教員)・菊池俊一 (山形大学准教授、4年めのキャンドルナイト実行委員会代表)・小林隆範 (福島より移住、3児の父)・志賀正雄 (元NTTリストラ裁判原告)・渋谷徹 (鶴岡市民)・白幡修 (だいこん座劇団員)・菅井巖 (鶴岡市議)・鈴木由利 (ウェルネスケア代表)・高橋裕子 (フクシマの子どもの未来を守る家代表)・立石たけ子 (元保育士)・田中宏 (鶴岡市議、音楽家)・田中文子 (小学校教員)・長南厚 (庄内地域づくりと子育て・文化協同の会、出羽三山の自然を守る会理事)・戸村雅子 (本町3丁目在住)・成田龍雄 (庄内医療生協)・長谷川剛 (1児の父)・長谷川肇 (酒田市在住)・長谷川結 (羽黒町在住、2児の母)・長谷川信 (鶴岡市民)・林香名 (山形大学農学部、「守る家」サポーター)・三井雅子 (ケトルワン)・森茂太 (大学教員)・森純子 (フクシマの子どもの未来を守る家)・矢口里恵 (フクシマの子どもの未来を守る家)・山崎昭夫 (元高校教師)・山田守 (生協職員)・吉田武 (さよなら原発酒田飽海の会)・渡部正一 (農民)・渡辺洋井 (鶴岡市議)・渡辺優斗 (大学生)・渡部吉重 (太陽印刷代表)